

【目指す学校の姿】子どもたち、先生方、保護者、地域にとって、心地よい居場所となる学校

【教育目標】ともにのびる

〔学校運営協議会、まちづくり協議会、山北そらいろ保育園、学童保育所、
山北中学校、放課後子ども教室、PTA、社会教育諸団体、コーディネーター等〕

【目指す子ども】ともに認め合う子

①思いやりの心の涵養

- ・心が温かくなる言葉をかけ合う学校風土
- ・縦割り班活動での認め合い、率先垂範
- ・多様性を認め、異なる価値観の理解と尊重
- ・自分や相手がされて嫌なことは人にしない、言わない

②いじめ、不登校の防止

- ・自己肯定感を高める声かけや関わり合い
- ・安心してSOSを発することができる信頼関係
- ・居場所として誰でもどこでも関わり合える安心感
- ・同和教育を中核とした人権感覚の涵養

③未来を見つめる力の育成

- ・特別活動や道徳の時間での社会性の育成
- ・自分の将来を考えるキャリア教育の充実
- ・自分の思いを相手に伝える力の育成
- ・相手の思いを想像して考える力の育成

- ・自分の思いや考えをしっかりと傾聴して、受け止める学校
- ・悩んだり、苦しかったりしたときに安心してSOSを出すことができる学校
- ・～したいという願いや夢が実現でき、ワクワクする学校
- ・多くの人たちと関わり合い、学び合い、語り合い、笑顔いっぱいの学校
- ・家に帰ると子どもたちが「今日も楽しかったよ。」と語ってくる学校
- ・地域のことを大切にするとともに、地域を頼りにしてくれる学校

【目指す子ども】ともに学び合う子

①主体的・対話的な学びの充実

- ・失敗や違いを認め合える安心で安全な教室
- ・寄り添い、つぶやきを大切にした授業
- ・子どもの実態をふまえた柔軟な単元構想
- ・ICTや正解のない問いの工夫

②学びを通じた地域とのつながり

- ・豊富な地域素材を生かした学習の推進
- ・地域との対話や体験を大切にし、良さを実感
- ・地域の良さを発信したいと思える支援
- ・子どもが地域を元気にするという視点の共有

【目指す子ども】ともにきたえる子

①体力の向上

- ・運動量の確保、場の設定など体育授業の工夫
- ・子どもがワクワクするスポーツイベント実施
- ・悠遊さんぽくスポーツクラブとの連携、協力
- ・体力テストの分析と改善策の実施

②望ましい生活習慣の育成

- ・養護教諭、栄養教諭と連携した保健給食指導
- ・小中連携したメディアコントロールの実施
- ・保健だより、懇談会等で家庭への情報宣伝
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨

目指す子どもを育てるために必要な4つの力

「人を大切にする力」

- ・失敗やトラブルを認め合い、支え合う学校風土
- ・人と比べず、自分らしさを大切に
- ・まずは自分自身を大切に

「自分の考えをもつ力」

- ・子どもに「あなたはと思う」の問いを
- ・子どもの考えを大人の思いに変換せず、認める
- ・正解のない問いを問い続ける

「自分を表現する力」

- ・自分の言葉を相手が受け止めてくれる安心感
- ・相手の表現の良さに気付く力を伸ばす
- ・相手の思いを考えた上で、対話する

「チャレンジする力」

- ・失敗してもやり直せばいいと思える環境
- ・うまくいかないときほど、ふんばってみる
- ・ふんばりの見守りと評価